

令和 8 年度（令和 7 年度分）指定管理者制度事業評価実施結果一覧

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
1	さわらびの湯	S	S	A	S	○清掃の徹底や定期的な点検を実施することで施設の長寿命化ができています。 ○施設の維持管理に対するコストを削減するため軽微な修繕については自社で積極的に行っている。 ○名栗地域の施設、関係者と連携し良好な運営ができています。	○令和 7 年度の利用者数は前年比 9 8. 6 %と減少している。利用者減少の背景には熊問題等があり、さわらびの湯だけではなく名栗地域全体で観光客が減少しているが、安全対策を講じたうえで近隣施設や地域と連携した事業による賑わいを生み、利用者の増加につながることを期待する。 ○今後も物価高騰や人件費のベースアップにより支出金額の上昇が予想され、その中でも施設の修繕は必須であり、修繕すべき個所が多くあるが、指定管理者と担当課で密に連携を取り、計画的に修繕する必要がある。
2	農林産物加工直売所	A	A	B	B	○指定管理の移管に伴う事務と並行する中で施設環境・サービス提供のクオリティを維持することに努めている。 ○市民向けのサービスを拡充することで地域貢献に努めている。 ○全体的な来館者数の増加に繋がったことは評価する。	○安心安全な管理運営に努めること。 ○新たな顧客層・財源の確保に努め、収支状況の改善を図ること。 ○地域住民に愛される施設となるよう、地域を巻き込んだ事業展開を積極的に図ること。
3	ふれあい農園施設	A	A	A	A	○施設周辺に隣接する農地一帯を栗・ブルーベリーの農園として借用し、地域農業の推進に努めている。 ○地域のイベントへの参加や観光協会と連携したエコツアーを開催するとともに、高齢化等で管理が難しくなった地域の栗畑の管理を担うなど、地域密着型の施設としての役割を果たしている。	○経年劣化がみられる施設のため適切な維持管理・代替案を検討すること。 ○猛暑などによる利用者数減少を想定して、他の収入源を確保すること。 ○引き続き、地域を巻き込んだ取組を実践すること。
4	林業センター	A	A	A	A	○林業推進事業については、令和 3 年度から実施している木育事業の内容と回数の改善を行った。 ○全体の利用者数は減少したものの、林業推進事業の充実を図った結果、参加者数は昨年度の約 1.3 倍となった。 ○今年度からは、林業従事者向けの講習を実施するなど、内容の充実を図り、利用者数も増加したことは高く評価できる。	○林業の振興の拠点施設として、林業従事者に対する情報発信、知識や技能向上の機会の創出、地域住民の森林・林業に関する相談等、幅広くニーズに応えられるよう、さらなる内容の充実を期待する。 ○マニュアルの整備や分かりやすい資料整理等、引継ぎを見越した体制整備に努めること。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
5	総合福祉センター （施設管理）	A	A	A	A	○利用者が安心して利用できるよう、積極的な取組がなされている。 ○引き続き保守点検や修繕等により、施設の維持管理に取り組むとともに、利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を充分に発揮することを期待する。	○施設の竣工後３５年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。 ○社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の削減に向けた創意工夫に努めること。 ○適切な人員配置や事務分担、経営的、人的マネジメントを行うことに努めること。
6	総合福祉センター （身体障害者福祉センター）	A	A	A	A	○利用者が減少したものの、概ね計画どおり事業が実施されている。 ○教育センターの移転に伴う影響も利用者（利用団体）とのきめ細かい調整により混乱が生じなかった点も評価できる。	○令和８年度より教育センターが移転したことによる影響が顕在化することが考えられる。既存の利用者（利用団体）に利用上の制限がされることにならないよう調整に努めること。 ○近年利用者が減少傾向であることを踏まえ、アンケート結果を活用したり、他市の取組を参考にするなどして新たな取組（事業内容の見直し）に努めること。
7	総合福祉センター （老人福祉センター）	A	A	A	A	○利用者へのサービスは、常に安全かつ適切に提供されており、安定した施設運営が維持されている。 ○令和７年度においては、高齢者の健康増進やコミュニティの活性化、生きがい創出に繋がる事業を積極的に推進した。 ○多様化するシニア層のニーズに応え、地域福祉の拠点として高齢者の健康で明るい生活の実現に大きく寄与した点は、総合的に高く評価できる。	○現在の事業は概ね計画どおりに進捗しており、安定した運営がなされている。しかし、地域の高齢化率がさらに上昇していく今後においては、単なる現状維持にとどまらず、高齢者の多様化するニーズに即した教養向上や生きがい創出の場をいかに提供できるかが課題となる。 ○今後は、さらなる利用者の健康増進に向けた魅力的なコンテンツの拡充を図るとともに、効率的かつ安全な施設運営に向けた業務のブラッシュアップ（見直し）を継続していくことが求められる。
8	総合福祉センター （児童センター）	A	A	A	A	○利用者の安全安心を第一に考え、施設美化にも取り組み、良好な施設環境を整えている。 ○児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。	○アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努め、児童の健全育成に向けた事業を推進すること。 ○利用者目線を重視し、放課後児童や中高生が安心して過ごせる居場所づくりに引き続き取り組むこと。 ○子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても事業の周知に取り組むこと。 ○地域と連携して事業を進め、世代を超えて交流できる場としての役割に取り組むこと。 ○美杉台児童館との連携をさらに深め、同一指定管理者の強みを生かした事業展開を図ること。 ○費用対効果を意識し、より効率的な施設運営に努めること。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
9	高齢者福祉施設敬愛園	A	A	A	A	○今年度も感染対策をする中で、外出行事を増やし、高齢者福祉に繋がる施設運営に努めている。 ○緊急措置など複雑な事情で入所されている高齢者に対し、職員が適切にコミュニケーションをとることで良質な施設運営に努めている。	○高齢者福祉の増員を図るために、養護老人ホームの特性上、幅広い知識・経験を積んだ職員の対応が求められ、今後も人員配置基準を満たす勤務体制の維持に努めること。 ○高齢化が進行する中で、様々な事情を持つ高齢者の相談が増えることが予測され、緊急保護などの案件にも迅速な対応に努めること。 ○施設に経年劣化に対応するため、日常的なメンテナンスを継続し、施設の長寿命化に取り組む必要がある。
10	美杉台児童館	A	A	A	A	○情報発信の多様化や見せ方の工夫に取り組み、効果的な情報提供を進めている。 ○児童の居場所機能の充実を図り、少子化の中でも利用者を増やすための取組を進めている。	○アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努め、児童の健全育成に向けた事業を推進すること。 ○子育て家庭への支援に向けた事業拡充を継続することでサービスと利用者満足度の向上に努めること。 ○利用者目線を重視し、放課後児童や中高生が安心して過ごせる居場所づくりに引き続き取り組むこと。 ○子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても事業の周知に取り組むこと。 ○地域と連携して事業を進め、児童が地域で継続的に活動できるような仕組みづくりに取り組むこと。 ○児童センターとの連携をさらに深め、同一指定管理者の強みを生かした事業展開を図ること。 ○費用対効果を意識し、より効率的な施設運営に努めること。
11	東吾野医療介護センター	A	A	A	A	○センター長の交代に伴い利用者数への影響が心配されたが、全体的には微減程度に留まり、入院・入所の稼働率も高い水準をキープすることができた。 ○一部の業務における利用者サービスに課題があったが、業務見直し等に取り組み、全体的には良好な運営がされていた。	○外来、健診、通所リハについては増加の余地があると考え、地域との積極的な関りや新たな取組みの発信、PR 等に努め、利用者増加に繋がる取組を継続していくこと。 ○入院及び老健入所については、高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めていくこと。 ○物価高騰に伴う管理的経費の増加や、人材確保に係る経費（雑費）の増加など、外的要因による経費の増加がみられるが、引き続き効率的な運営と経費縮減に努めること。 ○人材確保が困難な状況が続いているが、利用者へのサービス提供は、施設運営において基本となる部分であることから、業務分担や体制の見直しなどを行い、「質の高いサービス」が常に提供できるよう努めていくこと。 ○令和8年度から第5期目がスタートするが、発注者との「経営会議」を定期的に開催し、情報を共有するとともに、今後の経営方針や業務改善などについて話し合い、状況の変化に対応できるよう努めること。

施設名		評価結果				事業評価総合コメント（指摘事項等）	今後における業務改善の方向性
		基礎的 業務	利用者 サービス	収支 状況	総合 評価		
12	都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）	A	A	A	A	○年度当初より計画的に業務を遂行できており、植栽管理等の公園美化に対する意識について高く評価できる。 ○迅速な対応で修繕作業を実施していることから、危機管理体制の能力が高いと評価できる。	○民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源のさらなる確保に取り組むこと。
13	都市公園運動施設	A	A	A	A	○都市公園運動施設の管理・運営については、利用者が安全で安心して利用できるよう、積極的な取組がされている。 ○今後も、利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけ、利用者との良好な関係を築くことを期待する。	○今後も年間の修繕計画等を策定し、施設の保守点検や修繕等を計画的かつ着実に実施し、施設の安全な管理・運営を行うこと。 ○常に利用者のニーズを的確に捉え、利用者目線に立った質の高いサービスの提供に努めること。 ○引き続き、市と施設や利用者等の状況について情報共有を図りながら、業務を遂行すること。